USB&IEEE1394 ハードディスク

# HD-HBIBU2 シリーズ

## ユーザーズマニュアル


はじめに ..................... 7　**1**

セットアップ ................ 10　**2**

使いかた .................... 16　**3**

フォーマット ................ 23　**4**

付録 ........................ 35　**5**


Q&A　インターネットで弊社製品のQ&A情報を入手できます。
http://buffalo.melcoinc.co.jp/qa/index.html

# 本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

## 表記上の約束

注意マーク ........ ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... 次へ に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

## 文中の用語表記

- Windows搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
  C:ハードディスク
  D:CD-ROMドライブ
- 「IEEE1394b」、「FireWire800」は同じインターフェースです。本書では、「FireWire800」を「IEEE1394b」表記しています。
- 「IEEE1394」、「i.LINK」、「FireWire」は同じインターフェースです。本書では、「i.LINK」と「FireWire」を「IEEE1394」表記しています。
- 文中[ ]で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
- 本書に記載されているハードディスク容量は、1GB=$1000^3$byteで計算しています。OSやアプリケーションでは、1GB=$1024^3$byteで計算されているため、表示される容量が異なります。
- 本書では、Microsoft社Windows Millennium EditionをWindowsMe、Windows98 Second EditionをWindows98SEと表記しています。



■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
- 一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

# 安全にお使いいただくために必ずお守りください

**お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。**
**正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。**
**パソコンの故障／トラブルやデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。**

## ■使用している表示と絵記号の意味

### 警告表示の意味

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | 絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 注意 | この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。 |

### 絵記号の意味

| | |
|---|---|
| △ | △は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：⚠感電注意)が描かれています。 |
| ⊘ | ○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。<br>○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：⊘分解禁止） |
| ● | ●は、しなければならない行為を示す記号です。<br>●の近くに、具体的な指示内容（例：● プラグをコンセントから抜く）が描かれています。 |

## ⚠ 警告

電源プラグを抜く

**本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。**

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電したりする恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

**風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。**

火災になったり、感電、故障する恐れがあります。

分解禁止

**本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。**

火災・感電・故障の恐れがあります。また、本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

**煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。**

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電したりする恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

---

**本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐに電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。**

本製品は精密機器です。衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。衝撃は本製品の故障の原因となります。

---

**AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。**

海外などで異なる電圧で使用するとショートしたり、発煙や火災の恐れがあります。

---

**濡れた手で本製品に触れないでください。**

パソコンおよび周辺機器の電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても故障の原因となります。

---

**電源コードを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。**

・設置時に、電源コードを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。

・重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。

・熱器具を近付けたり、加熱したりしないでください。

・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

・極端に折り曲げないでください。

・電源コードを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源コードが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

---

**小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。**

---

**電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。**

さわってけがをする恐れがあります。

---

**本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告や注意指示に従ってください。**

---

**USBケーブル、IEEE1394ケーブルは必ず本製品付属のものをご使用ください。**

本製品付属以外のUSBケーブル、IEEE1394ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。本製品の故障の原因ともなります。

**電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。**
**差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。**

## ⚠ 注意

**ハードディスク、MO、フロッピーディスクドライブなどのデータの格納用機器へのアクセス中は、パソコンや機器の電源をOFFにしたり、リセットしたりしないでください。**
データを消失、破損する恐れがあります。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

**各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。**
**各接続コネクタには手を触れないでください。**
故障の原因となります。

**本製品の上に物を置かないでください。**
傷がついたり、故障の原因となります。

**通風口をふさいだり、他の機器と密着させないでください。**
故障の原因となります。

**アクセスランプが点灯している間は、電源スイッチをOFFにしたり、システムをリセットしたりしないでください。**

**シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。**
本製品のよごれは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

**静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。**
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れがあります。

**パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカの定める手順に従ってください。**

**電源スイッチのON/OFFは、少なくとも数秒の間隔をあけて行ってください。**
本製品の故障、データの消失、破損の恐れがあります。

強 制

**ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア（フロッピーディスク、MOディスク等）にバックアップしてください。**

とくに、修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前、更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。次のような場合に、データが消失、破損する恐れがあります。

・誤った使い方をしたとき
・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
・故障、修理などのとき
・パソコンの電源スイッチをOFFにした直後に、すぐに電源スイッチをONにしたとき
・天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強 制

**本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータをすべてMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。**

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、
バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
バックアップの作成を怠ったためにデータを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

禁 止

**次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。**

・強い磁界や静電気が発生するところ
・直射日光が当たるところ
・ほこりの多いところ
・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
・振動が発生するところ　→けが、故障、破損の原因となります。
・平らでないところ　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・火気の周辺、または熱気のこもるところ
　→故障や変形の原因となります。
・漏電または漏水の危険があるところ
　→故障や感電の原因となります。

禁 止

**本製品内部からの放熱により製品が少し熱くなりますが、異常ではありません。熱がこもると故障の原因となりますので、製品使用中は布などかぶせないようにしてください。**

強 制

**本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。**

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

# 目 次

## 1 はじめに .......................... 7

特長 .................................................. 7
各部の名称 ............................................ 8
電源の ON/OFF ......................................... 9

## 2 セットアップ ...................... 10

セットアップのながれ .................................. 10
Windows 搭載パソコンでのセットアップ手順 ................ 11
Macintosh でのセットアップ手順 ......................... 13

## 3 使いかた .......................... 16

使用上の注意 .......................................... 16
IEEE1394 機器の増設 .................................... 18
ハードディスクの取り外しかた（USB 接続時）.................. 19
WindowsMe ............................................. 19
WindowsXP/2000 ........................................ 19
Macintosh ............................................. 20
ハードディスクの取り外しかた（IEEE1394b および IEEE1394 接続時）.. 21
WindowsMe ............................................. 21
Windows98SE ........................................... 21
WindowsXP/2000 ........................................ 22
Macintosh ............................................. 22

## 4 フォーマット ........................ 23

ご注意 .............................................. 23
フォーマットのしかた ................................ 23
WindowsXP/2000をお使いの方へ ......................... 24
WindowsXP/2000/Me/98SEをお使いの場合 .................. 25
DVD 作成やキャプチャを行う（1 ファイルが4GB を超える可能性がある）場合【WindowsXP/2000 のみ】 ...... 27
Mac OS 9.2.1～9.2.2 ................................ 32
Mac OS X 10.0.4以降 ................................ 33

## 5 付録 .................................. 35

バックアップ ........................................ 35
バックアップの必要性 ................................. 35
バックアップ用のメディア ............................. 35
バックアップデータの復元（リストア） ................. 35
メンテナンス ........................................ 36
ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク） ... 36
ハードディスクの最適化（デフラグ） ................... 36
特定のソフトウェアが使用できない場合 ................ 36
TrueImage LEについて ................................ 37
動作環境 ............................................. 37
インストール ......................................... 37
使いかた ............................................. 37
Disk Formatterのアンインストール（Windows） ......... 37
仕様 ................................................ 38

# 1 はじめに

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

## 特長

● 7200回転、8MBキャッシュ搭載のハードディスクを採用
高速回転および大容量のキャッシュを搭載したハードディスクを採用しています。

● USB2.0、USB1.1、IEEE1394b、IEEE1394に対応
パソコンに付いているUSBポートとIEEE1394コネクタ、IEEE1394bコネクタのどのコネクタにでも接続が可能です。
※ USBケーブルとIEEE1394ケーブル、またはUSBケーブルとIEEE1394bケーブルを同時に接続することはできません。

● 本製品を、IEEE1394bで規定されているS800（※）で使用するには、弊社製IEEE1394bインターフェース（またはIEEE1394bに対応したパソコン本体）が必要です。
※最大転送速度800Mbps（理論値）

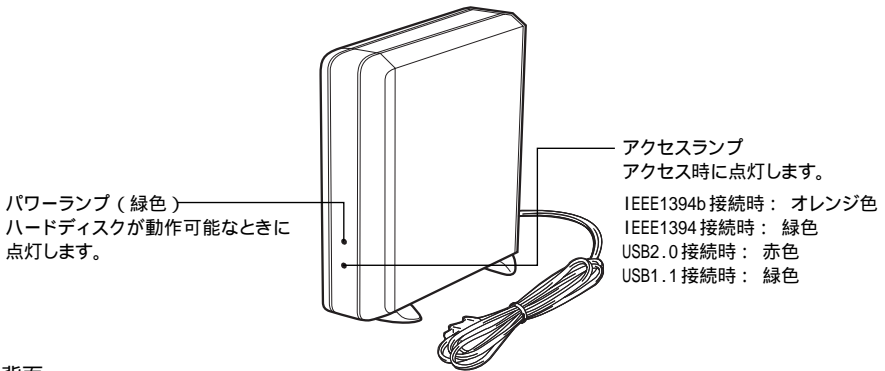
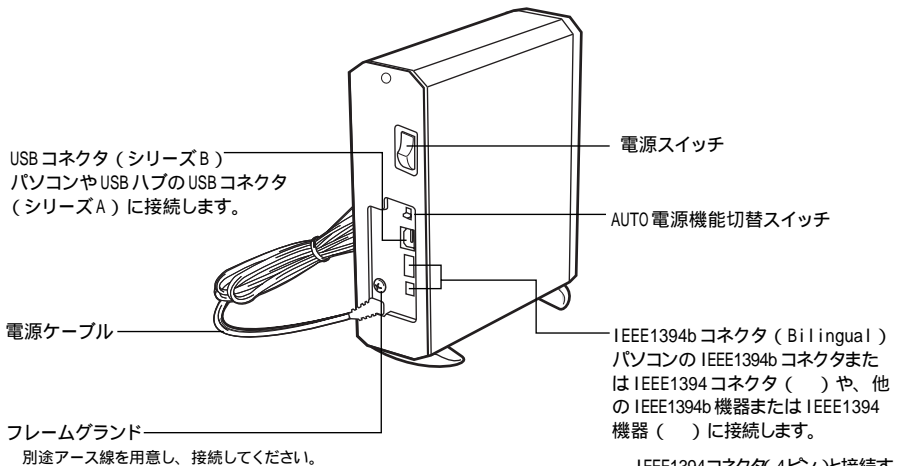
● 本製品を、USB2.0で規定されているHSモード（※）で使用するには、弊社製USB2.0インターフェース（またはUSB2.0に対応したパソコン本体）が必要です。
※最大転送速度480Mbps（理論値）

● ホットプラグに対応
本製品やパソコンの電源が入った状態でも、ケーブルを抜き差しして自由につなぎ替えられます。
※ ただし、ケーブルを抜く際は、必ず定められた手順に従って作業してください。【P19、21「ハードディスクの取り外しかた」】

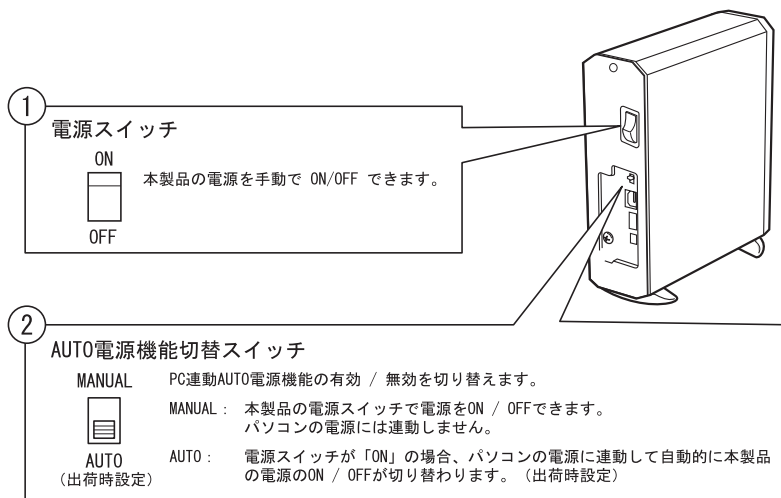
● PC連動AUTO電源機能を搭載
パソコンの電源のON/OFFに合わせて、本製品の電源も自動的にON/OFFされます。
※ 本製品の電源は、手動でON/OFFすることもできます。

●FAT32フォーマット済み
出荷時に論理フォーマットされていますので、そのままパソコンに接続してご使用いただけます。
※ Windows98SEの場合は、ご使用になる前にドライバのインストールが必要です。
※ MacOS 9.2.1～9.2.2をご使用の方は、再度フォーマットすることをお勧めします。そのまま使用した場合、ファイル名に2バイトコード文字（全角文字）するとパソコンが停止したり、ファイルが通常にコピーできないことがあります。
※ MacOS Xをご使用の方は、再度フォーマットする必要があります。

● 本製品は起動用ハードディスクとしては使用できません（OSを起動できません）。あらかじめご了承ください。

# 各部の名称

## ● 前面

付属品の確認は別紙の「はじめにお読みください」を参照してください。

# 電源のON/OFF

**「PC連動AUTO電源機能」によってパソコン本体の電源ON/OFFに合わせて自動でON/OFFすることも、手動でON/OFFすることもできます。**
**出荷時には、PC連動AUTO電源機能は無効になっています。**

**⚠注意 Mac OS X 10.0.4以降をお使いの方へ**
**Mac OS X 10.0.4以降をお使いの場合は、AUTO電源切替スイッチを「AUTO」に設定してください。「MANUAL」に設定すると、本製品がマウントされないことがあります。**

**⚠注意 「PC連動AUTO電源機能」使用時の注意**

- **本製品をIEEE接続している場合、DVカメラなど他のIEEE1394機器を本製品に接続すると自動的に本製品の電源がONになります。その場合、本製品の電源スイッチでON/OFFを切り替えてください。**
- **パソコンによっては、パソコン本体の電源スイッチをOFFにしても本製品の電源がOFFにならないことがあります。この場合は、本製品の電源スイッチでON/OFFを切り替えてください。**
- **本製品は必ず電源ケーブルを接続して使用してください。USBやIEEE1394からの電源供給だけでは、本製品を使用できません。**
- **パソコンの電源スイッチをOFFにしてから本製品のパワーランプが消えるまでに、少し時間がかかることがあります。**
- **ACアダプタ付きのUSBハブに本製品を接続した場合、パソコンの電源スイッチをOFFにしても本製品のパワーランプは消えません。本製品の電源スイッチをOFFにするか、USBハブから本製品を取り外してください。**

**⚠注意 本製品をNTFS形式でフォーマット（P27）された方へ**
**本製品のAUTO電源切替スイッチを「MANUAL」（出荷時設定）にしていると、正常に認識できないことがあります。正常に認識できなかった場合は、AUTO電源切替スイッチを「AUTO」にしてお使いください。**
**※AUTO電源切替スイッチを「MANUAL」で使用したい場合は、パソコンを立ち上げてから本製品の電源をONにしてください。正常に認識できるようになります。**

1
はじめに

# 2 セットアップ

本製品のセットアップ手順を説明しています。

## セットアップのながれ

本製品のセットアップ手順は次のとおりです。

メモ 内の手順については、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

### Windows搭載パソコン

本製品の電源ケーブルを<br>コンセントに接続する

▼

パソコンの電源スイッチをONにする

▼

Windows98SEの場合は、<br>付属のユーティリティCDをCD-ROM<br>ドライブにセットする

▼

Windows98SEの場合は、<br>「簡単セットアップ」が起動したら、<br>画面の指示に従って操作する

▼

本製品をパソコンに接続する

▼

これで本製品が使用できるようになります。

※ 本製品は、出荷時にFAT32形式（1パーティション）で論理フォーマットされていますので、改めてフォーマットする必要はありません。本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合のみフォーマットしてください。

### Macintosh

本製品の電源ケーブルを<br>コンセントに接続する

▼

パソコンの電源スイッチをONにする

▼

本製品をパソコンに接続する

▼

- MacOS 9.2.1～9.2.2の場合<br>MacOSに付属のフォーマッタで本製品をフォーマット(初期化)することをお勧めします【P32】。フォーマットせずに使用した場合、ファイル名に2バイトコード文字（全角文字）を使用するとパソコンが停止したり、ファイルが正常にコピーできないことがあります。
- MacOS X 10.0.4以降の場合<br>MacOSに付属のフォーマッタで本製品をフォーマット(初期化)する【P33】。

# Windows搭載パソコンでのセットアップ手順

詳しい手順は、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

● PC98-NXシリーズを使用しているときは、CyberTrio-NXが「アドバンストモード」になっていることを確認してください。
アドバンストモードになっていないと、本製品のドライバをインストールできないことがあります。次の手順でアドバンストモードに変更してください。

・モードの確認方法
タスクバーに表示されているCyberTrio-NXのインジケータ の色で確認できます。

| | | |
|---|---|---|
| 赤 | アドバンストモード | 設定を変更する必要はありません。 |
| 黄 | ベーシックモード | アドバンストモードに設定を変更してください。 |
| 緑 | キッズモード／カスタムモード | アドバンストモードに設定を変更してください。 |

・「CyberTrio-NX」のモードの変更方法
再起動後もアドバンストモードになるように設定を変更します。詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。
① [スタート]－[プログラム]－[CyberTrio-NX]－[Go To アドバンストモード]の順に選択します。アドバンストモードに切り替わります。
② [スタート]－[プログラム]－[CyberTrio-NX]－[CyberTrio-NX セットアップ]の順に選択します。
③ [CyberTrio-NXのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。[アドバンストモード]を選択して[OK]をクリックします。

以上でアドバンストモードに設定されました。
本製品のドライバをインストールした後は、アドバンストモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

● Windows98SEはIEEE1394bおよびIEEE1394のみの対応です。USBでの接続はサポートしておりません。

● パソコンのIEEE1394コネクタ（4ピン）と本製品を接続する場合は、別途弊社製IEEE1394ケーブル（4ピン←→Bilingual9ピン）のケーブルが必要です。備品販売窓口（別紙「はじめにお読みください」参照）にてお買い求めください。

● 本製品を、IEEE1394bで規定されているS800（最大転送速度800Mbps）で使用するには、パソコンのIEEE1394bコネクタに接続してください。IEEE1394コネクタ（6ピンまたは4ピン）に接続した場合、最大転送速度は400Mbpsに制限されます。

● Windows2000を使用している場合、セットアップ中に［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されることがあります。この場合は、ウィザード画面の［完了］をクリックしてください。
「このデバイス用のソフトウェアはインストールされましたが、正しく動作しない可能性があります。」と表示されますが、本製品は正常に動作します。

●本製品のドライバがインストールされると、[デバイス マネージャ]（※）に次のデバイスが追加されます。

※ [デバイス マネージャ]は次の方法で表示できます。

WindowsXP ........... [スタート]をクリック→[マイ コンピュータ]を右クリック→[管理]をクリック→[デバイス マネージャ]をクリック

Windows2000 ......... [マイ コンピュータ]を右クリック→[管理]をクリック→[デバイス マネージャ]をクリック

WindowsMe/98SE ...... [マイ コンピュータ]を右クリック→[プロパティ]をクリック→[デバイス マネージャ]をクリック

• USB接続の場合

| 使用OS | 追加場所 | 追加デバイス名 |
|---|---|---|
| WindowsXP/2000 | ディスクドライブ | ドライブユニット名 USB Device |
| | USB(Universal Serial Bus)コントローラ | USB大容量記憶装置デバイス |
| WindowsMe | ディスクドライブ | ドライブユニット名 |
| | ユニバーサルシリアルバスコントローラ | USB大容量記憶装置デバイス (*1) |
| | 記憶装置 | USBディスク |

• IEEE1394接続の場合

| 使用OS | 追加場所 | 追加デバイス名 |
|---|---|---|
| WindowsXP/2000 | ディスクドライブ (*2) | MELCOINC. 1394MEL-HD DRIVE IEEE 1394 SBP2 Device (*2) |
| WindowsMe | ディスクドライブ | ドライブユニット名 |
| | SBP2 | SBP2 Compliant IEEE1394 デバイス |
| | 記憶装置 | IEEE1394ディスク |
| Windows98SE/98 | ディスクドライブ | ドライブユニット名 |
| | SBP2 | SBP2 Compliant IEEE1394 デバイス |
| | 記憶装置 | 1394/USBディスク |

*1 緑色に白字で「?」が表示されますが、これはWindows付属の汎用ドライバがインストールされたためです。本製品は正常に動作していますので、そのままご使用ください。

*2 WindowsXPでご使用の場合は、上記の他にも次のデバイスが追加されます。

「SBP2 IEEE1394 デバイス」に「SBP2準拠 IEEE1394 デバイス」

● 本製品は、出荷時にFAT32形式（1パーティション）で論理フォーマットされていますので、通常は改めてフォーマットする必要はありません。

● 本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合は、ご使用の前にフォーマットしてください。

# Macintoshでのセットアップ手順

⚠注意 **別紙「はじめにお読みください」を参照して、あらかじめハードディスクに縦置き用スタンド（またはゴム足）を取り付け、電源ケーブルをコンセントに接続しておいてください。**

## 1 パソコンの電源スイッチをONにします。

**本製品をIEEE1394b（FireWire800）で使用する方へ**

MacOS 9やMacOS X 10.2.3以前をお使いの場合、Apple社ホームページ(http://www.apple.co.jp/)よりMac OS X 10.2.4以降にアップデートしてください。MacOS X 10.2.4以降にアップデートしないと、IEEE1394bの転送速度（最大転送速度800Mbps）で使用することができません。

※MacOS X 10.2.4以降にアップデートできない場合は、パソコン本体のIEEE1394ポートと本製品を接続してください（最大転送速度は400Mbpsとなります）。IEEE1394bポートに本製品を接続すると、IEEE1394ポートに接続したときよりも転送速度が遅くなることがあります。

## 2 付属のUSBケーブルまたはIEEE1394ケーブルまたはIEEE1394bケーブルで、ハードディスクとパソコンを接続します。

**各ケーブルのコネクタ形状は下図のとおりです。形状をよく確認して接続してください。**

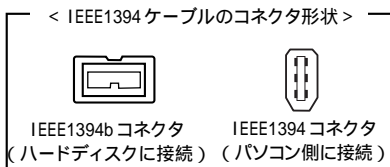
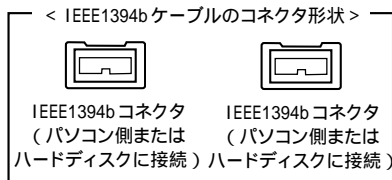
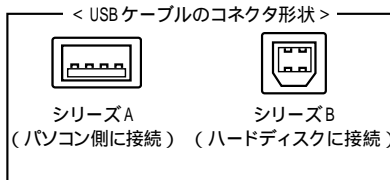
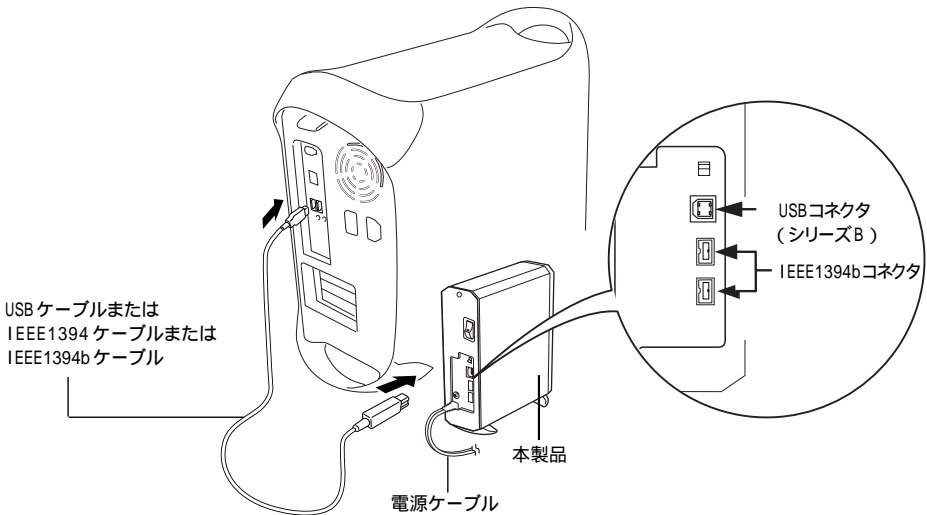
＜USBケーブルのコネクタ形状＞

シリーズA（パソコン側に接続）　シリーズB（ハードディスクに接続）

＜IEEE1394bケーブルのコネクタ形状＞

IEEE1394bコネクタ（パソコン側またはハードディスクに接続）　IEEE1394bコネクタ（パソコン側またはハードディスクに接続）

＜IEEE1394ケーブルのコネクタ形状＞

IEEE1394bコネクタ（ハードディスクに接続）　IEEE1394コネクタ（パソコン側に接続）

次のページへ続く

**本製品をパソコンのIEEE1394コネクタ（4ピン）と接続する場合は、別途弊社製IEEE1394ケーブル（4ピン←→Bilingual9ピン）が必要です。弊社備品販売窓口（別紙「はじめにお読みください」参照）にてお買い求めください。**

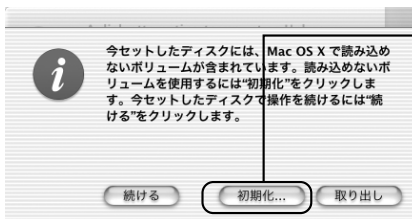
⚠注意 **本製品を、IEEE1394bで規定されているS800（最大転送速度800Mbps）で使用するには、パソコンのIEEE1394bコネクタに接続してください。IEEE1394コネクタ（6ピンまたは4ピン）と接続した場合の最大転送速度は400Mbpsに制限されます。**

## Mac OS X 10.0.4以降をお使いの場合

**本製品を接続すると、以下の画面が表示されますので、［初期化...］をクリックしてください。**

**1**

今セットしたディスクには、Mac OS X で読み込めないボリュームが含まれています。読み込めないボリュームを使用するには"初期化"をクリックします。今セットしたディスクで操作を続けるには"続ける"をクリックします。

続ける　初期化...　取り出し

［初期化 ...］ をクリックします。
クリックすると、「Disk Utility」が起動します。

※ この画面は、Mac OS X 10.1の画面です。Mac OS X 10.0.4では、少し画面が異なります。

**2** Disk Utilityが起動したら、「Mac OS X 10.0.4以降」(P33)の手順4以降に従って本製品を初期化します。

次へ 本製品を初期化します。【P33「MacOS X 10.0.4以降」】

**以上でハードディスクの接続は完了です。**

次のページへ続く

メモ 正常に接続されていれば、デスクトップに本製品のアイコンが追加されます。本製品のアイコンが追加されない場合は、以下のことを確認してください。

- 本製品の電源がONになっているか。
- USBケーブルまたはIEEE1394ケーブルまたはIEEE1394bケーブルや電源ケーブルは正しく接続されているか。

次へ

- MacOS 9.2.1〜9.2.2でご使用の場合は本製品が使用できるようになりますが、MacOS拡張フォーマットで初期化を行うことをお勧めします。MacOS拡張フォーマットで初期化しない場合、ファイル名に2バイトコード文字（全角文字）を使用するとパソコンが停止したり、ファイルが正常にコピーできないことがあります。
- MacOS X 10.0.4以降でご使用の場合は、続いてハードディスクをフォーマットします。
【P23「フォーマットのしかた」】

# 3 使いかた

**使用上の注意について説明しています。**

## 使用上の注意

⚠注意 ・**本製品に仮想メモリを割り当てないでください。本製品を取り外した際に、ハードディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。**
・**本製品のアクセスランプが点灯または点滅しているときは、絶対にUSBケーブル、IEEE1394ケーブル、IEEE1394bケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンの電源スイッチをOFFにしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。**
・**パソコン本体の省電力モード(スタンバイ、休止状態、スリープなど)は無効にしてください。データが破損したり、省電力モードから復帰できないことがあります。**

●MacOS X 10.0.4以降をご使用の方は、本製品を使用する前に必ずフォーマット(初期化)してください。【P33】

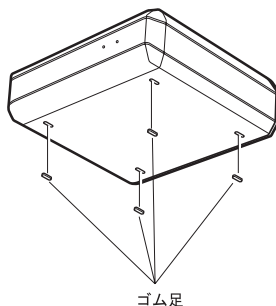
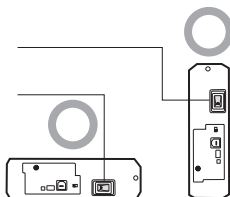
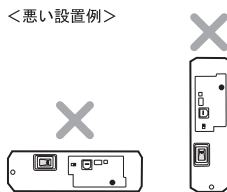
● 本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源スイッチがONのときでも、ケーブルを抜き差しできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。【P19、21「ハードディスクの取り外しかた」】

⚠注意 **ハードディスクにアクセスしているとき(アクセスランプが点灯しているとき)は、絶対にケーブルを抜かないでください。ハードディスク内のデータが破損するおそれがあります。**

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

● 本製品からOSを起動することはできません。

● 本製品を横置きにする場合
付属のゴム足(4個)を本製品の底面のくぼみに貼り付けてください。
ゴム足には両面テープが付いています。

⚠注意 ・**右図のとおりにゴム足を取り付けてください。**
・**本製品を積み重ねないでください。**

● 本製品は次のように設置してください(図は背面から見たところです)。

⚠注意 **動作中にハードディスクを移動させたり、設置方向を変えないでください。ハードディスクの破損の原因となります。**

**本製品の発熱について**

**本製品は筐体を利用して内部からの熱を放熱しております。筐体表面が熱くなりますが、異常ではありません。また、PC連動AUTO電源機能を使用しているときは、電源がOFFの状態でも、待機電流のため少し温かくなります。熱がこもると故障の原因となりますので、次の事項は行わないでください。**

- **本製品を積み重ねないでください。**
- **本製品の上や周りに放熱を妨げるような物を置かないでください。**
- **本製品に布などをかぶせないでください。**

● Windowsをお使いの場合、弊社製IFC-PCI4IBと以下のIEEE1394機器を同時に使用するとエラー発生することがあります。お使いのパソコン本体にIEEE1394コネクタがある場合は、以下のIEEE1394機器をパソコン本体のIEEE1394ポートに接続してください。
パソコンにIEEE1394ポートがない場合には、本製品と以下のIEEE1394機器を同時に使用することはできません。どちらか片方のみ接続してください。
DIU-GTH、DIU-G、DVRAM-IU、MOIU-640H、MOIU-1300H、CRWIU-B1610H、CDRW-J2410IU、CDRW-J1610IU、CRW-32IU、CRW-24IU、CRWD-32IU、CRWD-16IU

● 本製品に保存できる1ファイルの最大容量は4GBです。
本製品はFAT32形式でフォーマットされているため、1ファイルの最大容量が4GBとなります。WindowsXP/2000やMacOSをお使いの場合には、NTFS形式やMacOS拡張フォーマット形式で本製品をフォーマット(初期化)すれば1ファイルが4GB以上のファイルでも保存できるようになります。

● WindowsMe/98SE付属のドライブスペース3は使用しないでください。
パソコンの動作が不安定になるおそれがあります。

● Macintoshでリカバリするときは、本製品を取り外してください。
取り外さないとリカバリできません。

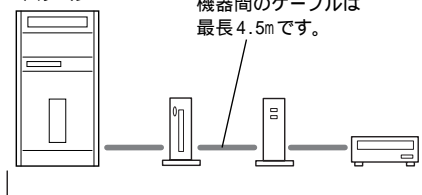
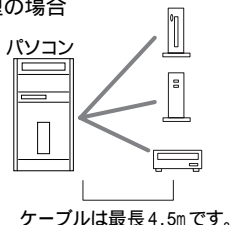
● WindowsXP搭載のパソコンのUSBコネクタに接続する場合
本製品をUSB1.1準拠のUSBコネクタに接続すると、「高速USBデバイスが高速ではないUSBハブに接続されています。(以下略)」と表示されます。そのまま使用する場合は、[×]をクリックしてください。

● ハードディスクの動作時、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが、異常ではありません。

# IEEE1394b機器およびIEEE1394機器の増設

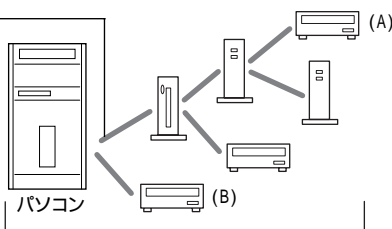
次の図のように接続してください。

⚠注意 ・本製品の電源を切ると、本製品以降に接続されている機器が使用できなくなります。
・本製品をUSBケーブルで接続した場合、IEEE1394b機器およびIEEE1394機器を本製品に接続することはできません。

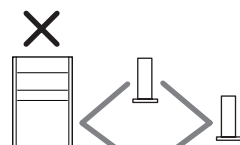
● デイジーチェーンの場合

● スター型の場合

パソコン

ケーブルは最長4.5mです。

● ツリー型の場合

※終端から終端の機器の間に使用できるケーブル数は最大16本（16ホップ）です。
左図の例での終端は(A)と(B)となり、その間のケーブル数は①～④の4本（4ホップ）となります。

⚠注意 次のような接続はできません。

（リング型）

パソコン

：IEEE1394ケーブル

メモ Windows98SEの場合、新しくIEEE1394bおよびIEEE1394機器を接続したときに次の画面が表示されることがあります。その場合は、Windows98 Second Edition CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして［OK］をクリックしてください。IEEE1394bおよびIEEE1394ドライバがインストールされます。

「Windows98 Second Edition CD-ROM上の（中略）が見つかりませんでした。」と表示されたときは、［ファイルのコピー元］にE:\WIN98と入力し、［OK］をクリックします（下線部にはCD-ROMドライブのドライブ名を入力します）。

すでにIEEE1394ドライバがインストール済みのときは、以前インストールしたドライバを使用します。［はい］を数回クリックしてください。

# ハードディスクの取り外しかた（USB接続時）

本製品をUSBケーブルで接続している場合、パソコンの電源スイッチがONのときは、次の手順で取り外します。

メモ　パソコンの電源スイッチがOFFのときには、そのまま取り外せます。

## WindowsMe

注意
- 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。
- 本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。

**1** タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン をクリックします。

**2** メニューが表示されたら、[USB ディスク-ドライブ(X:)の停止]をクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。

**3** 「取り外すことができます。」と表示されたら、[OK]をクリックし、本製品を取り外します。

## WindowsXP/2000

省電力ユーティリティ for HDをインストールされた場合は、省電力ユーティリティのマニュアルに記載の手順で取り外してください。
省電力ユーティリティのマニュアルを表示するには、簡単セットアップ（付属のCDをパソコンにセットしたときに表示されるメニュー）から[省電力ユーティリティのマニュアルを見る]を選択し[OK]をクリックします。
省電力ユーティリティがインストールされている場合に以下の手順を行うと、エラーメッセージが表示されたり、省電力状態にできないことがあります。

注意
- 省電力ユーティリティ for HDをインストールしていない場合は、必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。
- 本製品にNTFSでフォーマット【P27 「DVD 作成やキャプチャを行う(1 ファイルが4GB を超える可能性がある)場合【WindowsXP/2000 のみ】」】したパーティションがあるかによって、取り外しの手順は異なります。
- 本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。
- 以下の説明では、Windows2000の画面を使用しています。

### NTFSでフォーマットしたパーティションがない場合

**1** タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン (WindowsXP)、 (Windows2000)をクリックします。

次のページへ続く

**2** **メニューが表示されたら、[USB 大容量記憶装置デバイス-ドライブ(X:)を停止します]をクリックします。**

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。WindowsXPの場合は、メッセージが少し異なります。

USB 大容量記憶装置デバイス- ドライブ (G:) を停止します　17:21

本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます。

**3** **[USB大容量記憶装置デバイスは安全に取り外すことができます。]と表示されたら、[OK]をクリックし、本製品を取り外します。**

メモ WindowsXPの場合は、[OK]をクリックする必要はありません（表示は自動的に消えます）。

### NTFS でフォーマットしたパーティションがある場合

⚠注意 **パソコンの動作中に本製品を取り外すことはできません。**

**1** **WindowsXP/2000を終了し、パソコンの電源をOFFにします。**

**2** **本製品を取り外します。**

## Macintosh

**1** **本製品のアクセスランプが消えていることを確認し、デスクトップにある本製品のアイコンをゴミ箱にドラッグアンドドロップします。**

⚠注意 本製品に複数のパーティションを作成した場合は、すべてのパーティションのアイコンを、ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。

**2** **本製品を取り外します。**

# ハードディスクの取り外しかた（IEEE1394bおよびIEEE1394接続時）

**本製品をIEEE1394bケーブルまたはIEEE1394ケーブルで接続している場合、パソコンの電源スイッチがONのときは、次の手順で取り外します。**

**メモ　パソコンの電源スイッチがOFFのときには、そのまま取り外せます。**

## WindowsMe

**注意**
- **必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。**
- **本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。**

**1　タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン をクリックします。**

**2　メニューが表示されたら[IEEE1394ディスクードライブ(X:)の停止]をクリックします。**

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。

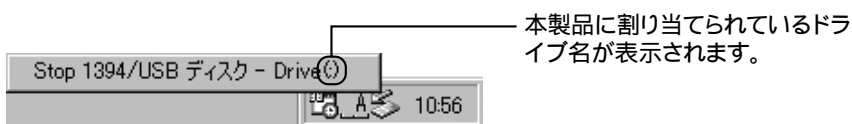
**3　「取り外すことができます。」と表示されたら、[OK]をクリックし、本製品を取り外します。**

## Windows98SE

**注意**
- **必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。**
- **本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。**

**1　タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン をクリックします。**

**2　メニューが表示されたら[Stop 1394/USBディスクードライブ(X:)]をクリックします。**

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。

**3　「'1394/USBディスク'デバイスをコンピュータから取り外しても安全です。」と表示されたら、[OK]をクリックします。**

次のページへ続く

**4** **本製品を取り外します。**

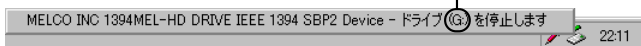
⚠注意 IEEE1394機器およびIEEE1394b機器（本製品を含む）は、必ず終端に接続したものから取り外してください。終端ではない機器を取り外すと、次の警告画面が表示されます。

## WindowsXP/2000

**省電力ユーティリティ for HDをインストールされた場合は、省電力ユーティリティのマニュアルに記載の手順で取り外してください。**
省電力ユーティリティのマニュアルを表示するには、簡単セットアップ（付属のCDをパソコンにセットしたときに表示されるメニュー）から[省電力ユーティリティのマニュアルを見る]を選択し[OK]をクリックします。
省電力ユーティリティがインストールされている場合に以下の手順を行うと、エラーメッセージが表示されたり、省電力状態にできないことがあります。

⚠注意
- 省電力ユーティリティ for HDをインストールしていないときは、必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。
- 本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。
- 以下の説明では、Windows2000の画面を使用しています。

**1** **タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン (WIndowsXP)、 (Windows2000)をクリックします。**

**2** **メニューが表示されたら、[MELCO INC. 1394MEL-HD DRIVE IEEE 1394 SBP2 Device-ドライブ(X:)を停止します]をクリックします。**
下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。
WindowsXPの場合は、メッセージが少し異なります。

**3** **「取り外すことができます。」と表示されたら[OK]をクリックし、本製品を取り外します。**

メモ WindowsXPの場合は、[OK]をクリックする必要はありません（表示は自動的に消えます）。

## Macintosh

**1** **本製品のアクセスランプが消えていることを確認し、デスクトップにある本製品のアイコンをゴミ箱にドラッグアンドドロップします。**

⚠注意 本製品に複数のパーティションを作成した場合は、すべてのパーティションのアイコンを、ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。

**2** **本製品を取り外します。**

# フォーマット

**本製品をフォーマット（初期化）する方法を説明しています。**

## ご注意

● **本製品は出荷時にFAT32形式(1パーティション)でフォーマットされています。Windows や MacOS 9.2.1 ～ 9.2.2 でご使用になる場合、通常はそのままの状態でご使用いただけます。**

本製品を複数の領域に分けて使用したり（※1）、ファイル名に2バイトコード文字（全角文字）を使用する場合（※2）、MacOS X 10.0.4以降でご使用になる場合は、以下に記載の手順でフォーマットしてください。

**※1 MacOS 9.2.1～9.2.2では、本製品を複数の領域に分けて使用できません。**

**※2 MacOS 9.2.1～9.2.2をお使いの場合のみ。**

● **フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチをOFFにしたり、リセットしないでください。ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。**

● **フォーマットすると、ハードディスク内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、ハードディスクの使用環境をもう一度よく確認してください。**
**ハードディスクのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。**
**誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、フォーマットを実行するディスクが何台目のディスクか、パーティション名は何か必ず確認しておいてください。**



## フォーマットのしかた

**使用しているOSに応じて、次のページを参照してください。**

- WindowsXP/2000【P24】
- WindowsMe/98SE【P25】
- Mac OS 9.2.1～9.2.2【P32】
- Mac OS X 10.0.4以降【P33】

次のページへ続く

## WindowsXP/2000 をお使いの方へ

WindowsXP/2000をお使いの場合、2種類のフォーマット方法があります。用途に応じて以下のページを参照しフォーマットしてください。

- **キャプチャを使っている**
  キャプチャボードなどでテレビやビデオの映像を録画したデータを本製品に保存する場合。
- **DVDを作ることがある**
  本製品を取り付けたパソコンでDVD-Videoやデータディスク(DVD)を作成する場合。
- **容量が4GB以上のファイルを保存したい**
  1ファイルが4GB以上の容量を持つファイルを本製品に保存したい場合。
- **NTFS形式でフォーマットしたい**
  本製品をNTFS形式でフォーマットしたい場合。

→

**「DVD作成やキャプチャを行う(1ファイルの容量が4GBを超える可能性がある) 場合【WindowsXP/2000のみ】」**
**【P27】**

1ファイルが4GBを超えるファイルを保存することができます。
本製品をNTFS形式でフォーマットします。

⚠注意 **この手順でフォーマットした場合、WindowsMe/98SE、Macintoshなどからアクセスはできません。**

- **簡単にフォーマットしたい**
  簡単にフォーマットしたい場合。ただし、1ファイルの容量が4GB以上のファイルは保存できません。
- **マルチブート環境などで他のOSからもアクセスしたい**
  WindowsXP/2000の他に、WindowsMe/98SEなどからアクセスしたい場合。
- **FAT32またはFAT16形式でフォーマットしたい**
  本製品をFAT32形式またはFAT16形式でフォーマットしたい場合。

→

**「WindowsXP/2000/Me/98SEをお使いの場合」****【P25】**

簡単にフォーマットすることができます。また、マルチブート環境での使用に適しています。
本製品をFAT32形式またはFAT16形式でフォーマットします。

⚠注意 **1ファイルが4GB以上のファイルを保存できません。**

## WindowsXP/2000/Me/98SEをお使いの場合

**⚠注意** **FAT32形式でフォーマットした場合、1ファイルの最大容量は4GBとなります。WindowsXP/2000をお使いの場合には、【P27 「DVD作成やキャプチャを行う（1ファイルが4GBを超える可能性がある）場合【WindowsXP/2000のみ】」】の方法でフォーマットすれば1ファイルが4GB以上のファイルでも保存できます。**

**ここでは例として、本製品の出荷時状態から再度フォーマットする手順を説明します。**
**フォーマットにはDISK FORMATTERを使用します。以下の手順でインストールした後、フォーマットしてください。**

### ■DISK FORMATTERをインストールする

**1** **パソコンにユーティリティCDをセットします。**

**簡単セットアップが起動します。**

**2** **「DISK FORMATTERのインストール」を選択し、[開始]をクリックします。**

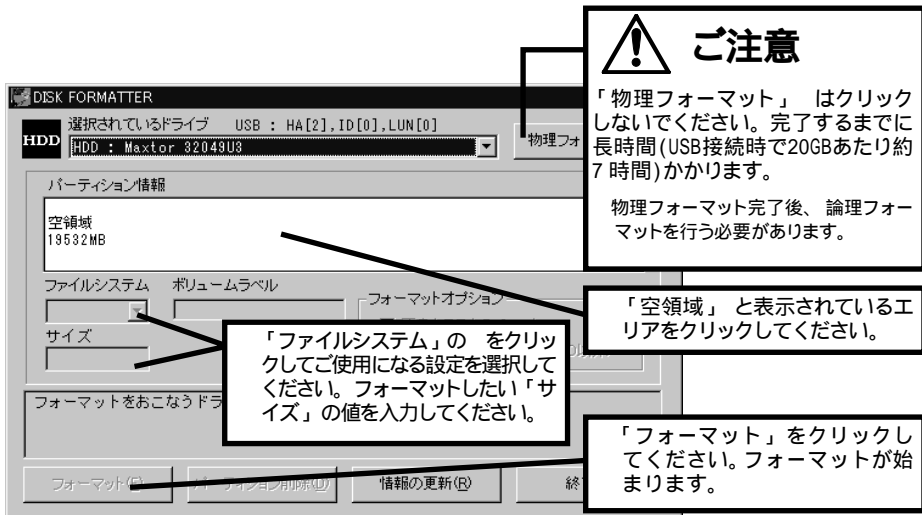
**以降は画面の指示に従ってインストールしてください。**

### ■フォーマットする

**フォーマットする前に本製品をパソコンに接続してください。**

**［スタート］－［プログラム］－［BUFFALO］－［DISK FORMATTER］－［DISK FORMATTER］の順に選択し、Disk Formatterを起動します。**

**パーティション情報に「空領域」が表示されたことを確認してください。「空領域」が表示されたら、次の手順に進みます。**

次のページへ続く

**⚠注意　130GB 以上の HD-HBIBU2 シリーズをお使いの方へ**
**本製品を出荷時状態でWindows98SEにてご使用の場合、スキャンディスクを実行しようとするとエラーが発生します(Windows98SE の仕様です)。**
**スキャンディスクを実行する必要がある場合は、1パーティションのサイズを130GB以下に変更してご使用ください。**

**⚠注意**
- **フォーマットするドライブを間違えないでください。**
- **FAT16からFAT32に変換する場合は、本製品をもう一度FAT32でフォーマットしてください。OSに付属の「ドライブコンバータ」でFAT16からFAT32に変換すると、エラーが発生し、FAT32に変換できない場合があります。**

**メモ**
- 2047MBを超える容量を1つの領域として確保する場合は、[ファイルシステム]に[FAT32]を選択してください。[FAT16]では、1つの領域は最大2047MBとなります。
- Disk Formatterに関する詳細は、付属のユーティリティCDに収録されている「Disk Formatter ソフトウェアマニュアル」(diskformatter.pdf ファイル)を参照してください。

## DVD作成やキャプチャを行う（1ファイルが4GBを超える可能性がある）場合【WindowsXP/2000のみ】

**ここではNTFS形式でフォーマットする手順を説明します。**

**フォーマットする前に本製品をパソコンに接続してください。**

⚠注意
- **本製品は、ダイナミックディスクにアップグレードすることはできません。**
  ※ダイナミックディスクについては、Windowsのヘルプを参照してください。
- **マルチブート環境などで他のOSからアクセスする場合は、NTFS形式でフォーマットしないでください。他のOSからはファイルを参照できません。**
- **以下の説明では、Windows2000の画面を使用しています。**

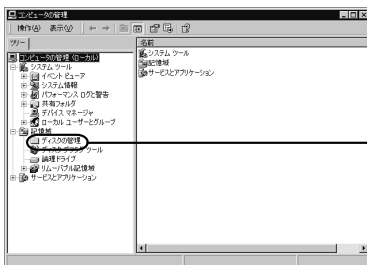
**1** **WindowsXP/2000を起動し、コンピュータの管理者権限があるユーザーでログオンします。**

**2** **デスクトップにある［マイコンピュータ］を右クリックします。**

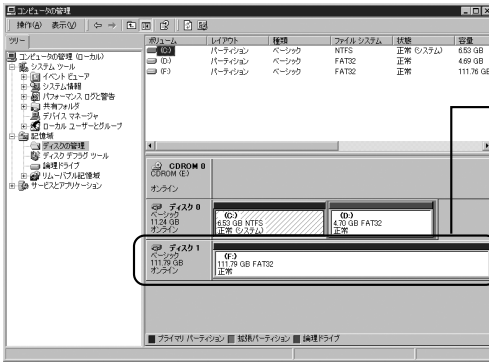
**WindowsXPの場合**

［スタート］をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックします。

**3** **メニューが表示されたら［管理］をクリックします。**

**4**

［ディスクの管理］をクリックします。

次のページへ続く

**5**

本製品に割り当てられているドライブを確認します。

※ドライブを間違えると、ハードディスクの中身がすべて消えてしまいますので、ご注意ください。

**6**

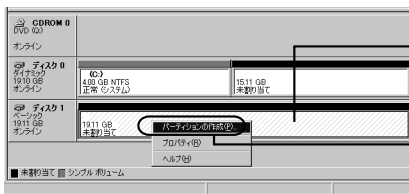
① 本製品に割り当てられている領域を右クリックします。

② [パーティションの削除]をクリックします。

**7** 「パーティションを削除しますか?」と表示されたら、[はい]をクリックします。

パーティションが削除されます。

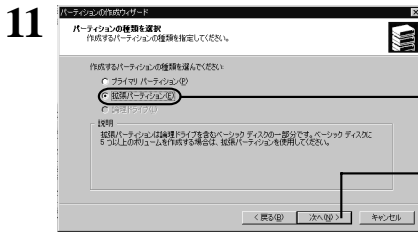
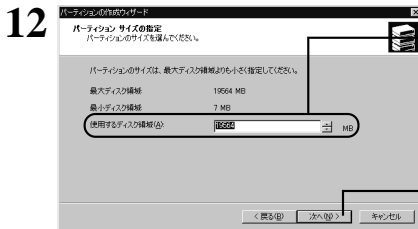
**8**

**9**

① 未割り当て領域を右クリックします。

② [パーティションの作成](WindowsXPの場合は[新しいパーティション])をクリックします。

次のページへ続く

**10** **［パーティションの作成ウィザードの開始］(WindowsXPの場合は［新しいパーティションウィザードの開始］）と表示されたら、［次へ］をクリックします。**

**11**

① ［拡張パーティション］をクリックして（・）を付けます。

② ［次へ］をクリックします。

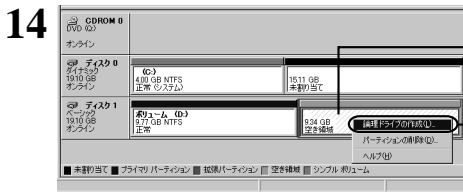
**12**

① ［使用するディスク領域］でサイズを指定します(WindowsXP の場合は［パーティション サイズ］でサイズを指定します)。

※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

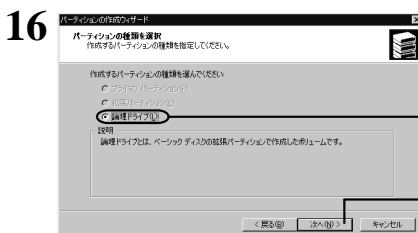
② ［次へ］をクリックします。

**13** **［パーティションの作成ウィザードの完了］(WindowsXPの場合は［新しいパーティションウィザードの完了］）と表示されたら、［完了］をクリックします。**

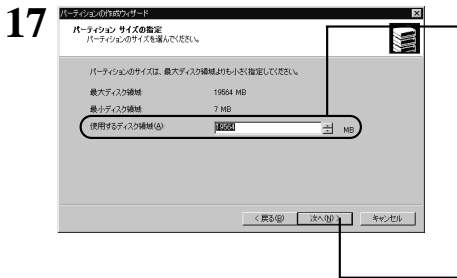
**14**

① 空き領域を右クリックします。

② ［論理ドライブの作成］(WindowsXP の場合は［新しい論理ドライブ］）をクリックします。

**15** **［パーティションの作成ウィザードの開始］(WindowsXPの場合は［新しいパーティションウィザードの開始］）と表示されたら、［次へ］をクリックします。**

**16**

① ［論理ドライブ］が選択されていることを確認します。

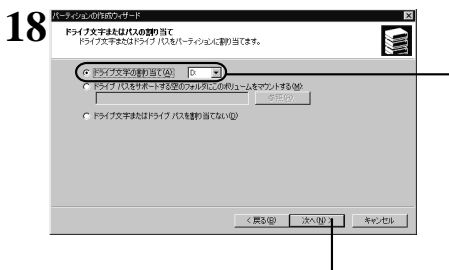
② ［次へ］をクリックします。

次のページへ続く

**17**

① ［使用するディスク領域］ でサイズを指定します(WindowsXP の場合は[パーティション サイズ]でサイズを指定します）。

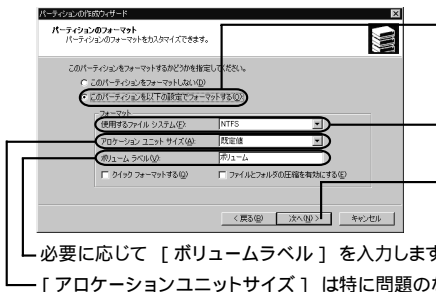
※ サイズを変更する必要がない場合は、 初期設定のまま最大値で確保します。

② ［次へ］ をクリックします。

**18**

① ［ドライブ文字の割り当て］(WindowsXP の場合は[次のドライブ文字を割り当てる])をクリックし、ドライブ文字を指定します。

※ 特に設定を変更する必要がなければ、 初期設定のままにしてください。

② ［次へ］ をクリックします。

## 19 フォーマット形式などを設定します。

① ［このパーティションを以下の設定でフォーマットする］ をクリックし、（•）を付けます。

② ［NTFS］ を選択します。

③ 各項目を設定したら、 ［次へ］ をクリックします。

必要に応じて ［ボリュームラベル］ を入力します。

［アロケーションユニットサイズ］ は特に問題のない限り、 初期設定のまま使用します。

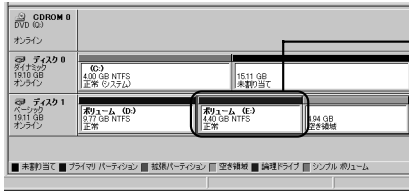
**⚠注意** 本製品にパーティションが1つも存在しないときは、［クイックフォーマットする］にチェックマーク（✓）を付けないでください。 チェックマーク（✓）を付けると、フォーマットが正常に終了しません。

## 20 ［パーティションの作成ウィザードの完了］(WindowsXPの場合は[新しいパーティションウィザードの完了]）と表示されたら、[完了]をクリックします。

フォーマットが始まり、 進行状況が%表示されます。

**メモ** フォーマットを中止する場合は、フォーマット中のパーティションを右クリックし、表示されたメニューの中の ［フォーマットの中止］ をクリックします。

次のページへ続く

**21**

フォーマットが正常に終了すると、ボリュームラベルとパーティションに加えて、「正常」と表示されます。

### 「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というメッセージが表示された場合

パーティションは作成されていますが、フォーマットは完了していません。[OK] をクリックし、作成したパーティションを次の手順でフォーマットしてください。

1. 作成したパーティションを右クリックして [フォーマット] を選択します。
2. 必要に応じてボリュームラベルやファイルシステムを設定し、[次へ] をクリックします。

   ⚠注意 [クイックフォーマットする] にチェックマーク (✓) を付けると、クイックフォーマットを行います。フォーマット時間が短縮されます。

3. 以降は画面のメッセージに従って操作します。

以上でフォーマットは完了です。

メモ 本製品を複数の領域に分割して使用するときは、手順 17 でサイズを指定し、以下手順 21 までを作成する数だけ繰り返します。

⚠注意 **本製品の電源を入れるときの注意**

本製品の AUTO 電源切替スイッチを「MANUAL」にしていると、正常に認識できないことがあります。正常に認識できなかった場合は、AUTO 電源切替スイッチを「AUTO」にしてお使いください。

※ AUTO 電源切替スイッチを「MANUAL」で使用したい場合は、パソコンを立ち上げてから本製品の電源を ON にしてください。正常に認識できるようになります。

4 フォーマット

## Mac OS9.2.1～9.2.2

ここでは例として、本製品をMacOS拡張フォーマットで初期化する手順を説明します。

⚠注意 ・フォーマット（初期化）するときは、必ずMac OSのマニュアルを参照してください。
・Mac OS9.2.1～9.2.2では、本製品を複数の領域に分けて使用することはできません。

**1** [アップルメニュー]－[コントロールパネル]－[機能拡張マネージャ]をクリックします。

**2**

①「File Exchange」の左の[×]をクリックし、[□]にします。

②［再起動］をクリックします。

**3** パソコンが再起動したら、本製品を接続します。

> **「このディスクは、このコンピュータで読めません。ディスクを初期化しますか?」というメッセージが表示された場合**
>
> ディスクを初期化します。手順6へ進んでください。

**4** デスクトップ上にあるHD-HBIBU2のディスクアイコンをクリックして選択します。

**5** 画面上部にあるメニューバーの［特別］をクリックし、[ディスクの初期化]をクリックします。

**6** 「名前」にドライブ名称を入力し、「フォーマット」に[Mac OS拡張]を選択して［初期化］をクリックします。
本製品の初期化が始まります。

**7** [アップルメニュー]－[コントロールパネル]－[機能拡張マネージャ]をクリックします。

**8** 「File Exchange」の左の[□]をクリックして[×]にし、[再起動]をクリックします。
パソコンが再起動します。

以上で初期化は完了です。

## Mac OS X 10.0.4以降

Mac OS XのDisk Utilityを使ってパーティションを作成し、本製品をフォーマットします。

⚠注意 ・フォーマットすると、ディスク上にあるデータやパーティションはすべて消去されます。フォーマットするディスクを間違えないように、十分注意してください。
・本製品に複数のパーティションを作成できない場合があります。その場合は、パーティションを分けずにお使いください。

**1** デスクトップの[Macintosh HD]をダブルクリックします。

**2** [Applications]フォルダの中の[Utilities]フォルダを開きます。

**3**

[Disk Utility] をダブルクリックします。
[Disk Utility] が起動します。

**4** Mac OS 10.1の画面

①フォーマットするディスクをクリックします。

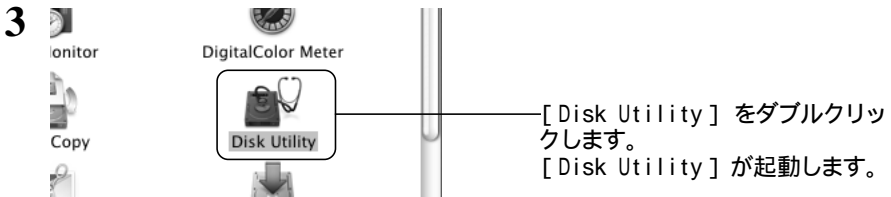
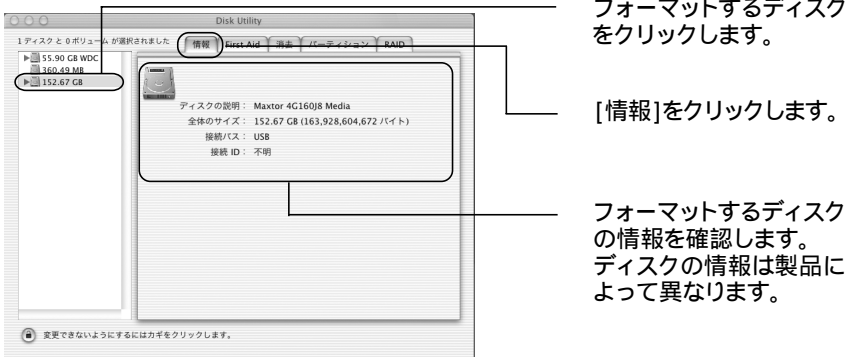
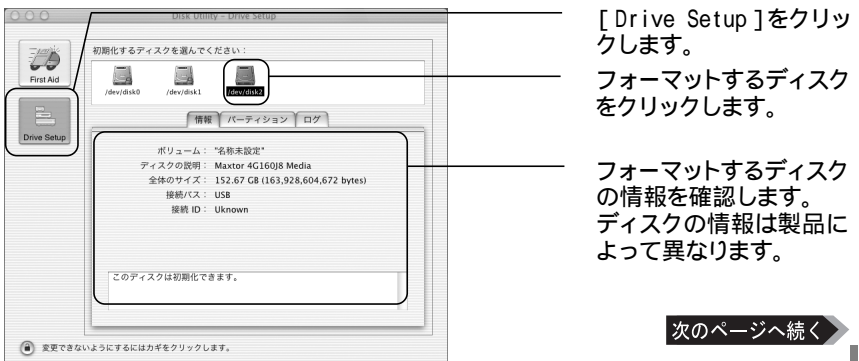
②[情報]をクリックします。

③フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

Mac OS 10.0.4の画面

① [Drive Setup] をクリックします。

②フォーマットするディスクをクリックします。

③フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

次のページへ続く

**5** Mac OS 10.1の画面

①［パーティション］をクリックします。

②パーティション情報を設定します。
フォーマットは通常、[Mac OS 拡張]を選択してください。

③［OK］をクリックします。

Mac OS 10.0.4の画面

①［パーティション］をクリックします。

②パーティション方式（作成するパーティションの数）を設定します。

③パーティション情報を設定します。
フォーマットは通常、[Mac OS 拡張]を選択してください。

④［パーティション］をクリックします。

※ 設定したパーティションは、すべて一括でフォーマットされます。
また、設定方法については、Mac OSのヘルプも参照してください。

**6** 「(略) この操作は取り消せません。この操作を実行してもよろしいですか?」と表示されたら、[パーティション]をクリックします。

以上で本製品のフォーマットは完了です。Disk Utilityは終了してください。

# 5 付録

## バックアップ

### バックアップの必要性

ハードディスクに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。
Windowsをお使いの場合は、付属ソフト「TrueImage LE」でバックアップを作成することができます。詳しくは、「TrueImage LEについて（Windowsのみ）」（P37）を参照してください。

⚠注意 ハードディスクを使用する場合は、定期的にバックアップを作成してください。

### バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

・フロッピーディスク　・光磁気ディスク（MO）　・ネットワーク（LAN）サーバ
・増設ハードディスク　・CD-R/RW　・DVD-RAM　・DVD-R/RW　・DVD+R/RW

大容量ハードディスクのバックアップ先としてフロッピーディスクを選んだ場合、大量のフロッピーディスクが必要になります。また時間もかかるため、効率的な手段とはいえません。可能な限りMOなど容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にすることをおすすめします。

メモ Windows98付属のバックアップツールを使って、MOにデータをバックアップする場合、バックアップするファイル容量の合計がMOディスクの空き容量を超えないようにしてください（Windows98付属のバックアップツールの仕様です）。バックアップするときは必要なファイルだけを選択し、MOディスクの空き容量に納まるようにしてください。

### バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元のハードディスクに復元することをリストアといいます。

リストアコマンド／ツールは、一般的にバックアップコマンド／ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認して使用してください。

# メンテナンス

Windows 付属のツールを使用したハードディスクのメンテナンスについて説明します。

## ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク）

Windowsには、ハードディスクのエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクを安全に使用するために、ハードディスクを定期的にチェックすることをおすすめします。

メモ
- エラーのチェック方法は、Windowsのヘルプやマニュアルを参照してください。
- Windows98SEにて130GB以上のHD-HBIBU2シリーズを出荷時状態でお使いの場合、スキャンディスクを実行しようとするとエラーが発生します（Windows98SEの仕様です）。スキャンディスクを実行する必要がある場合は、1パーティションのサイズを130GB以下に変更してご使用ください。
- Macintoshには、ハードディスクのエラーをチェックするためのツールは付属していません。ディスクのチェックには、市販のユーティリティを使用してください。

## ハードディスクの最適化（デフラグ）

ハードディスクを長期間使用してファイルの書き込みや削除を繰り返していると、ファイルが分断されてディスクのあちらこちらに散らばってしまいます。これを断片化（フラグメンテーション）といいます。断片化されたファイルは、読み書きする際にディスクのあちらこちらにアクセスしなくてはいけないため、時間がかかっています。

このように散らばってしまったファイルをきれいに並べなおすことを、最適化（デフラグメンテーション）といいます。ハードディスクを最適化すると、ディスクアクセスの速度が改善されます。

Windowsには、断片化したハードディスクを最適化するためのツールが付属しています。ハードディスクを快適に使用するために、定期的にハードディスクを最適化することをおすすめします。

メモ
- 最適化の方法は、Windowsのヘルプやマニュアルを参照してください。
- Macintoshには、ハードディスクを最適化するためのツールは付属していません。ディスクの最適化には、市販のユーティリティを使用してください。

# 特定のソフトウェアが使用できない場合

パソコン標準搭載のハードディスクを対象にしたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。
その場合は、パソコンに標準搭載のハードディスクを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

※ ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカ（プリインストールソフトではパソコンメーカの場合があります）にご確認ください。

# TrueImage LEについて（Windowsのみ）

TrueImage LEは、バックアップを作成するソフトウェアです。データのバックアップだけでなく、OSのインストールされたハードディスクのバックアップも可能なため、お使いの環境をそのままバックアップすることができます。

## 動作環境

Acronis True Image LEには、次のハードウェアが必要です。

- Pentiumまたは互換CPUを備えたPC
- 32MB以上のRAM
- フロッピーディスクドライブまたはCD-ROMドライブ
- マウス（推奨）
- イメージファイル用のハードディスク空き領域

CD-ROMドライブはAcronis True Image LEのインストールに必要です。

## インストール

以下の手順でインストールしてください。

**1 パソコンにユーティリティCDをセットします。**

簡単セットアップが起動します。

**2 「TrueImage LEのインストール」 を選択し、[開始]をクリックします。**

以降は画面の指示に従ってインストールしてください。

⚠注意 シリアル番号の入力が要求されたときは、別紙「はじめにお読みください」に記載されている番号を入力してください。

## 使いかた

TrueImage LEのユーザーズガイドを参照してください。 TrueImage LEのユーザーズガイドは、[スタート]－[（すべての）プログラム]－[Acronis]－[TrueImage]－[Acronis TrueImage LE ユーザーズガイド]をクリックすると表示されます。

メモ TrueImage LEのユーザーズガイドは、TrueImage LEのインストール後に表示できるようになります。

# Disk Formatterのアンインストール（Windows）

付属ソフト「Disk Formatter」が不要になったときは、以下を参照してアンインストールしてください。

**1 [スタート] －[（すべての）プログラム] －[BUFFALO] －[DISK FORMATTER] －[アンインストーラ] の順に選択します。**

**2 以降は画面の指示に従って操作します。**

以上でDisk Formatterのアンインストールは完了です。

5

付録

# 仕様

**最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。**

| 準拠規格 | | USB Specification Rev2.0<br>IEEE 1394b |
|---|---|---|
| コネクタ | | USB ：USBコネクタ シリーズB ×1<br>IEEE1394b ：1394bコネクタBilingual9ピン ×2 |
| 最大転送速度（※） | | 480Mbps（USB2.0）／12Mbps（USB1.1）／<br>800Mbps（IEEE1394b）／400Mbps（IEEE1394） |
| 出荷時フォーマット形式 | | FAT32（1パーティション） |
| 最大消費電力 | | 25W |
| 動作環境 | 温度 | 5～35℃ |
| | 湿度 | 20～80％（結露なきこと） |

**※本製品を、USB2.0で規定されているHSモード（最大転送速度480Mbps理論値）で使用するには、弊社製USB2.0対応インターフェース（またはUSB2.0に対応したパソコン本体）が必要です。また、Macintoshをお使いの場合は、MacOS X 10.2.7以降である必要があります。**

**※本製品を、IEEE1394bで規定されているS800（最大転送速度800Mbps理論値）で使用するには、弊社製IEEE1394b対応インターフェース（またはIEEE1394bに対応したパソコン本体）が必要です。また、Macintoshをお使いの場合は、MacOS X 10.2.4以降である必要があります。**

HD-HBIBU2シリーズ ユーザーズマニュアル

2004年6月16日 初版発行

発行　　株式会社バッファロー